

班番号	
-----	--

【事前学習資料】  
津波避難に関するワークショップ  
ワークシート

日時:平成 30 年 3 月 4 日  
場所:室戸市室戸岬町三津地区

高知県危機管理部  
南海トラフ地震対策課

## 1 はじめに

地震は、いつどこで起こるかわからないことを前提に備えることが大切です。

一方で、昨年 11 月から、「南海トラフ地震に関連する情報」の運用が始まり、気象庁が南海トラフ沿いで、大規模地震発生の可能性が高まった場合に発表します。

国では、この情報が発表された際の新たな防災対応について検討することとしており、その参考とするために室戸市と黒潮町のモデル地区で検討することになりました。

## 2 ワークショップの目的と視点

不確実ではあるが、大規模地震発生の可能性が高まったという情報を活用して、「どうすれば少しでも人的被害を軽減することができるか」という視点で議論していただきたいと考えています。

- どのような人が事前に避難すると良いか
- この情報が発表された場合に、あなたはどのような行動をとるのか(とりたいのか)
- できるだけ負担感を感じないで避難するために、どのような準備及び支援が必要か

第一回 概要説明と地区の課題の洗い出し  
グループワーク

第二回 課題のとりまとめ(5 月中旬予定)

### 3 ワークショップで検討する地震の状況

ワークショップで新たな防災対応を検討するにあたっては、以下のケースを想定しています。

#### ○ 検討する地震の状況

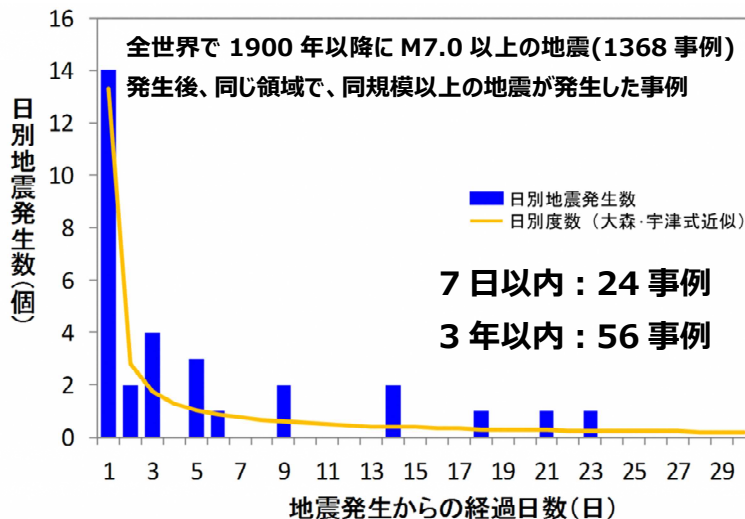
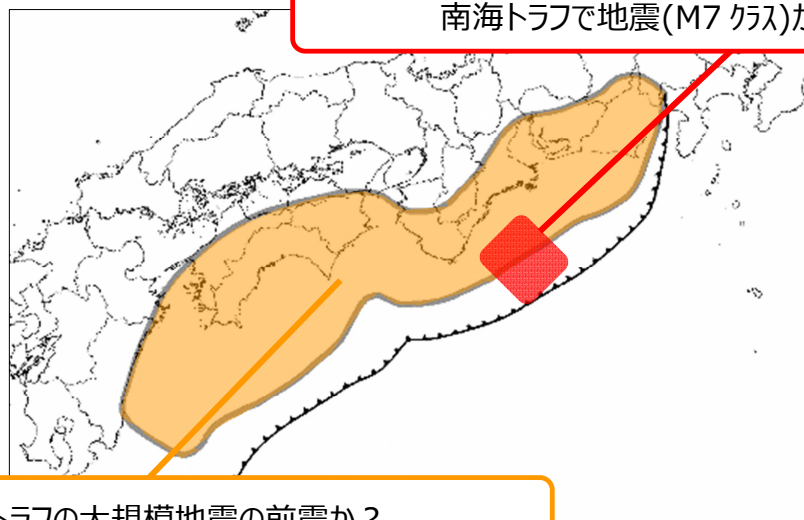
(南海トラフ沿いの地震観測・評価に基づく防災対応のあり方について(報告)より)

##### ・三重県南東沖でM7 の地震が発生。

※南海トラフ沿いでは確認されていないが、世界全体では、M7.0以上の地震発生後に、さらに規模の大きな地震が同じ領域で発生した事例がある。

※日本でも、東北地方太平洋沖地震が発生した際は、その2日前にM7クラスの地震が発生していた。

##### ・室戸市は震度3、津波注意報の発表なし。被害なし。



## 4 ワークショップの前提条件の整理

災害対応を考えるため、ワークショップの前に、みなさんの身の回りの条件を地図を見ながら整理して、記入してみましよう。

### ○ あなたの社会的な前提条件

年齢及び性別	
職 業	
家 族 構 成	(家族のなかで避難する場合に配慮が必要なことがあれば、その情報も記入しましょう。例:持病の有無など)

### ○ 自宅周辺の災害に対する前提条件

- 自宅は耐震化されていますか？  
( 耐 震 性 有 り ・ 耐 震 性 無 し ( 不 明 ) )
- 自宅の裏に土砂災害の発生しそうな箇所がありますか？  
( 有 り ・ 無 し )
- 30cm 津波の到達時間は何分ですか？  
( 分 )
- 津波の最大浸水深は何メートルですか？  
( メートル )
- 津波からの避難場所はどこですか？  
( )
- 地震が起きた場合の避難所はどこですか？  
( )
- 避難経路の安全は確保されていますか？  
( 確保されている ・ 確保されていない )

## 5 ワークショップ

2ページの地震の状況では、高知県には地震の被害や津波の心配はありません。しかし、大規模地震の可能性が高まっているとの情報が発表されており、可能性が低くなる見通しは立っていません。

このような、状況を踏まえたうえで、ワークショップを始めます。質問に順番に回答してください。

### 質問 1

気象庁から「相対的に地震発生の可能性が高まった」と情報が発表された場合、あなたの地域ではどのような方が事前に避難しておく方が良いと思いますか。該当する番号に○をしてください。(複数選択可)

- 1 高齢者、障害者、乳幼児、要介護者その他特に配慮を必要とする方
- 2 子供(小学生)
- 3 耐震性のない建物に住んでいる方
- 4 津波が早期に到達するおそれのある地区の方
- 5 土砂災害や地震火災のおそれのある地区の方
- 6 そのような方は特にいない
- 7 その他

(例) 1. ブロック塀の倒壊等で避難が困難になる人

## 質問 2

質問1で選択した方々が、事前に避難するためには、どのような準備及び支援があれば良いでしょうか。

### 【必要な準備及び支援】

#### (避難所へ避難するために必要な準備及び支援)

※ 避難所とは家屋等、長期間生活ができる場所をいう

(例) ・避難所への交通手段(バスなど)の準備、手配

・あらかじめ、避難に支援が必要な方(要介護者、障害者)を地域で把握し、避難方法を決めておく

#### (避難所で生活するために必要な準備及び支援)

(例) 食料品、飲料水、料理用機材、食器、・・・

#### (その他)

(例) 移動用車両、要介護者の介護人、介護者用車いす、簡易トイレ

※「あなたの状況」を質問します。

質問 3

2ページの地震の状況で、気象庁から「相対的に地震発生の可能性が高まった」と情報が発表された場合、あなたは事前に避難しますか。該当する番号に○をして、人数を記入してください。

1 避難する

避難する人は何名ですか (      名)

→ 質問4へ

2 避難しない(できない)

避難しない(できない)人は何名ですか(      名)

→ 質問14へ(17頁)

質問 4(事前に避難する方)

どのタイミングで避難しますか。該当する番号に○をしてください。

- 1 気象庁の臨時情報で「地震発生の可能性が相対的に高まった」と発表されたとき
- 2 市町村の避難勧告等が出されたとき
- 3 その他

--



質問 5(事前に避難する方)

どこに避難しますか。該当する番号に○をしてください。また、5～8を選択した場合は、市内か市外の該当する方にあわせて○をしてください。

- 1 三津地区避難所（杉尾神社、防災センター）
- 2 三津地区の避難場所（1 2カ所）…班の避難場所
- 3 市が指定する避難所  
（案）中央公園体育館、室戸高校体育館等
- 4 市が指定する避難グラウンドに車で避難  
（案）中央公園グラウンド、室戸高校グラウンド
- 5 家族宅（ 市内 ・ 市外 ）
- 6 親戚宅（ 市内 ・ 市外 ）
- 7 知人宅（ 市内 ・ 市外 ）
- 8 その他（ 市内 ・ 市外 ）

（例） 市の指定する福祉避難所

質問 6(事前に避難する方)

なぜ、その場所に避難することを選びましたか。

【理由】

(三津地区の避難所または避難場所を選んだ理由)

(例) 家族と離れたくない

(市が指定する避難所又はグラウンドを選んだ理由)

(例) 避難所は屋根が有り、生活するための設備が整っている

(その他を選んだ理由)

質問 7(事前に避難する方)

仕事はどうしますか。該当する番号に○をしてください。

- 1 休暇を取る
- 2 通常どおり継続する
- 3 仕事はしていない
- 4 その他

質問 8(事前に避難する方)

避難所へはどのような方法で行きますか

【避難の方法】

(例) 自家用車、バス、タクシーなど

質問 9(事前に避難する方)

避難の仕方はどのようなものですか。該当する番号に○をして、その理由を記入してください。

1 終日避難

【理由】

2 夜間のみ避難

【理由】

3 その他

【理由】

質問 10(事前に避難する方)

どれくらいの期間であれば、質問5の避難先で避難生活を送れますか。該当する番号に○をしてください。

1 1～3日

2 4～7日

3 7日～2週間

4 2週間～1ヶ月

5 1ヶ月以上

6 地震発生の可能性低下の気象庁の臨時情報が発表されるまで

質問 11(事前に避難する方)

なぜ、質問10の期間を選びましたか。該当する番号に○をしてください。(複数選択可)

【理由】

- 1 避難所生活の負担(心身のストレス、プライバシー)のため
- 2 通院・持病のため
- 3 仕事や学校のため
- 4 避難先の家族や知人への負担が懸念されるため
- 5 その他

質問 12(事前に避難する方)

事前に避難をするためにはどのような準備及び支援が必要ですか。該当する番号に○をしてください。(複数選択可)

【準備及び支援内容】

- 1 避難するための交通手段(バスなど)
- 2 避難所での食料、生活用品等
- 3 その他

(市の避難所に避難する場合)

(例) 食料品、飲料品・・・・

(三津地区の避難所又は班の避難場所に避難する場合)

○避難所

(例) 食料品、飲料水、・・・・

○班の避難場所

(例) 寝具、簡易トイレ、・・・・

(その他の場所に避難する場合)



質問 13(事前に避難する方)

事前に避難をする場合、仕事や暮らしにどのような影響が考えられますか。

【仕事や暮らしへの影響】

(例) 集団生活でのストレスで病気になる

質問 14(事前に避難しない(できない)方)

なぜ、事前に避難しないのですか。(できないのですか)

該当する番号に○をしてください。(複数選択可)

- 1 地震や津波がいつどこで起きても避難できるため
- 2 持病、通院のため
- 3 家族の介護などの世話のため
- 4 仕事、学校があるため
- 5 住み慣れた環境(地元)から離れたくないため
- 6 避難所へ行く手段がないため
- 7 避難所の生活が不安なため
- 8 その他

(例) ペットがいるため。

質問 15(避難できない方)

事前に避難できるようにするためには、どのような準備及び支援が必要ですか？

【準備及び支援内容】

(例) 避難所までの移動手段確保

質問 16(避難しない方)

事前に避難しない場合、あなたにどのような準備及び支援が必要ですか。

【準備及び支援内容】

(例)家の耐震工事

## 質問 17

質問1で「地域で事前に避難する必要がある方」、質問2でその方が「事前に避難するために必要な準備及び支援」についてお答えいただきました。

その回答と以下の地域の状況を踏まえ、地域（自主防災組織）でできる事前避難のための準備や支援はどのようなことがありますか。

### 【地域の状況】

- 総人口 441人
- 高齢者 258人（高齢化率 約58.5%）
- 要配慮者のうち個別避難計画を作成している方 88人
- 沿岸では、30cmの津波が5分から10分で到達する地域があります。

### 【地域でできる準備及び支援】

（例）住民に対して「事前避難の意義や目的」の理解活動を実施する